

霍公鳥ほくととぎすに感めづる情こころづに飽あかずして、懷おもひを述の

べて作る歌つく一首うた 并あはせて短歌たんか

#### 四一八〇番

春はる過ぎて 夏なつ来向きむかへば あしひきの 山やま呼よびと  
よめ さ夜中よなかに 鳴なくほととぎす 初声はつこゑを 聞きけ  
ばなつかし あやめぐさ 花橘はなたちばなを 貫ぬき交まじへ  
かづらくまでに 里さととよめ 鳴なき渡わたれども なほ  
ししのはゆ

#### 反歌はんか三首

#### 四一八一番

さ夜よふけて 晓あか月に 影見かげみえて 鳴なくほととぎ  
す 聞きけばなつかし

#### 四一八二番

ほととぎす 聞きけども飽あかず 網捕あみとりに 捕とりて  
なつけな 離かれず鳴なくがね

#### 四一八三番

ほととぎす 飼かひ通とほせらば 今年ことし経へて 来向きむかふ  
夏なつは まづ鳴なきなむを